



3学期、順調に走り出しています。

能登半島の地震や羽田空港での接触事故など、大変な年明けになりました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。私達は、今こうして、児童108名が安心安全に学べる環境があることに感謝しながら、自分達に出来ることをしっかりと進めていきたいと思えます。

1月号では、本校におけるPBL (Project Based Learning) の取組と、小中一貫校「あい・かもがた学園」で共通に進めている、「ほめ言葉のシャワー」の進捗状況についてご報告します。

【PBL (Project Based Learning) の取組】

PBLは、日本語では「課題解決型学習」などと訳される勉強法です。教科書に添って授業を進めて行く学習は、一般的な知識を学習して原理や構造、使用方法など基本知識を身に付けてから、それを実践にどうしたら生かせるかという流れで進むのに対して、PBLは学習の順序が逆になります。

PBLはまず課題が与えられ、その課題の解決にはどのような知識が必要になるか、その知識を得るためにはどのようなことを学ばよいかを児童が自分で考え、課題解決のためにさまざまな面からアプローチします。本校では、5年生・6年生がPBLに取り組み、課題解決の流れを経験する中で、調べる力、コミュニケーション力、調整力、実行力等、様々な力を身に付けることができました。

<5年生の取組>

課題：5年生は、鴨方西幼稚園の5歳児を対象に、「園児が小学校に期待感を持ち、スムーズに小学校に進級できるように、園児との交流会を企画し実行する」ことを課題として設定しました。

成果：園児との交流を企画・実行することを通じて、園児との適切な関わり方を考えたり、相手の気持ちを考えながら行動したりできるようになりました。また、最高学年への心構えをもつことができるようになりました。

<6年生の取組>

課題：6年生は、「鴨方の魅力を地域や岡山県の人々に発信することで、鴨方を元気にしたい」と考え、「どのような魅力をどのように発信するかを考え、企画立案し実行する」ことを課題として設定しました。

成果：4つの魅力を発信するために、地域のお店や天文台の学芸員さんなどにインタビューをしたりして、情報収集・整理・発表資料作りを行いました。また、鴨方の魅力を発信する場として鴨西マルシェを企画し、集客方法（スタンプラリー等）を考えた結果、200名が集まる地域交流の場が実現しました。



<5年生が企画運営した幼稚園との交流会>



<6年生が8ヵ月かけて準備した鴨西マルシェ>

【徳の取組：ほめ言葉のシャワー（山香先生来校）】

R6年度より、鴨方中学校での取組「ほめ言葉のシャワー※」の活動を小学校でも本格展開することを計画しています。そのために、1学期は講師の先生として、菊池道場主催の「菊池省三先生」にお越し頂き、お手本授業を実施頂きましたが、3学期は、同じ道場の「山香昭先生」にお越し頂きました。山香先生に、1年生・2年生・4年生で実際に授業をしていただき、本校教員が学ぶ場として研修会を設けました。 ※：一人ひとりのよいところをクラスみんなで見つけ伝え合う活動



<1年生：友達のいいところを見つけよう>



<2年生：1本のチューリップ>



<4年生：ほめ言葉トランプの活用>

放課後に実施した校内研修では、『ほめる』とは何かを分解して説明して頂きました。『ほめる』とは、『価値』を言葉で伝え、その価値の『理由』を言葉で伝え、『感謝』の気持ちを拍手などで表すことであることを整理して頂きました。3学期から、5年生・6年生では、帰りの会などで、ほめ言葉のシャワーを実践していく予定です。また、学校だよりで進捗を報告します。